

特集

「家族」の声を聞く

ケアを引き受ける／引き受けざるを得ない人には何ができるのか

訪問看護では、直接的なケアを提供する本人の「家族」と無関係ではられません。さまざまな家族関係に触れ、ときに巻き込まれながら関わっていきます。今回の特集では、その家族側に置かれる人にお力添えいただき、「疾患・障害のある人の家族」が背負う／背負わされるものについて注目します。介護者である前に1人の個人であり、尊重されるべき存在である家族に対し、支援者は具体的にはどのようなことができるのかについて探ります。

【インタビュー】障害者家族／親の声

●児玉真美

【インタビュー】病気の子どもの「きょうだい」の声

●清田悠代

【寄稿】親を看取る子の声

●岡山容子

特別対談

「死なせる（安楽死）」議論より、ずっと手前の話

●佐々木淳／川口有美子

※一部変更となることがあります。

編集後記

作者・高橋恵子さんによる巻頭漫画「家でのこと」が前号で最終回を迎え、待望の書籍化が実現します！ 最終回掲載後、書籍用の描き下ろし原稿も完成させ、魂を削りながら家での物語たちに寄り添ってくださっていました。1年間、本当にありがとうございました。なお、2021年も引き続き表紙イラストはご担当いただきます。読者の皆様のお忙しい日々に、一瞬でも、ホッとできる高橋さんの絵をお届けできたらと存じます。……米沢

➤ の後記を書いているのは2020年12月頭。スケジュール帳を見返すと、今年は遠出の取材&出張はほぼしていません。コロナによって、仕事のスタイルもかなり変わってきました。皆、どうやって仕事しているんだろう。さて、前号から引き続き形で特別記事「ウィズコロナ時代の訪問看護（後編）」を掲載しています。「事業所」単位のミクロでやるべきことと、「地域（全国）」単位のマクロでやるべきことが整理できる記事です。マクロでやるべきことをミクロで挑んでしまっただけ返されたり、あるいはミクロにやるべきことをマクロの問題に還元してスルーしてしまったりということは往々にしてあるもの。だからこそ、これらを整理しておくことは重要だなと感じます。…小池

訪問看護と介護 第26巻 第1号（通巻295号） 2021年1月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2021, Printed in Japan

1部定価：本体1,650円（本体1,500円＋税10%）

年間購読料（送料弊社負担、年間12冊）：冊子版または電子版13,860円（本体12,600円＋税10%）、冊子＋電子版17,160円（本体15,600円＋税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。